

CASBEE® 広島

(2010年ver.1)

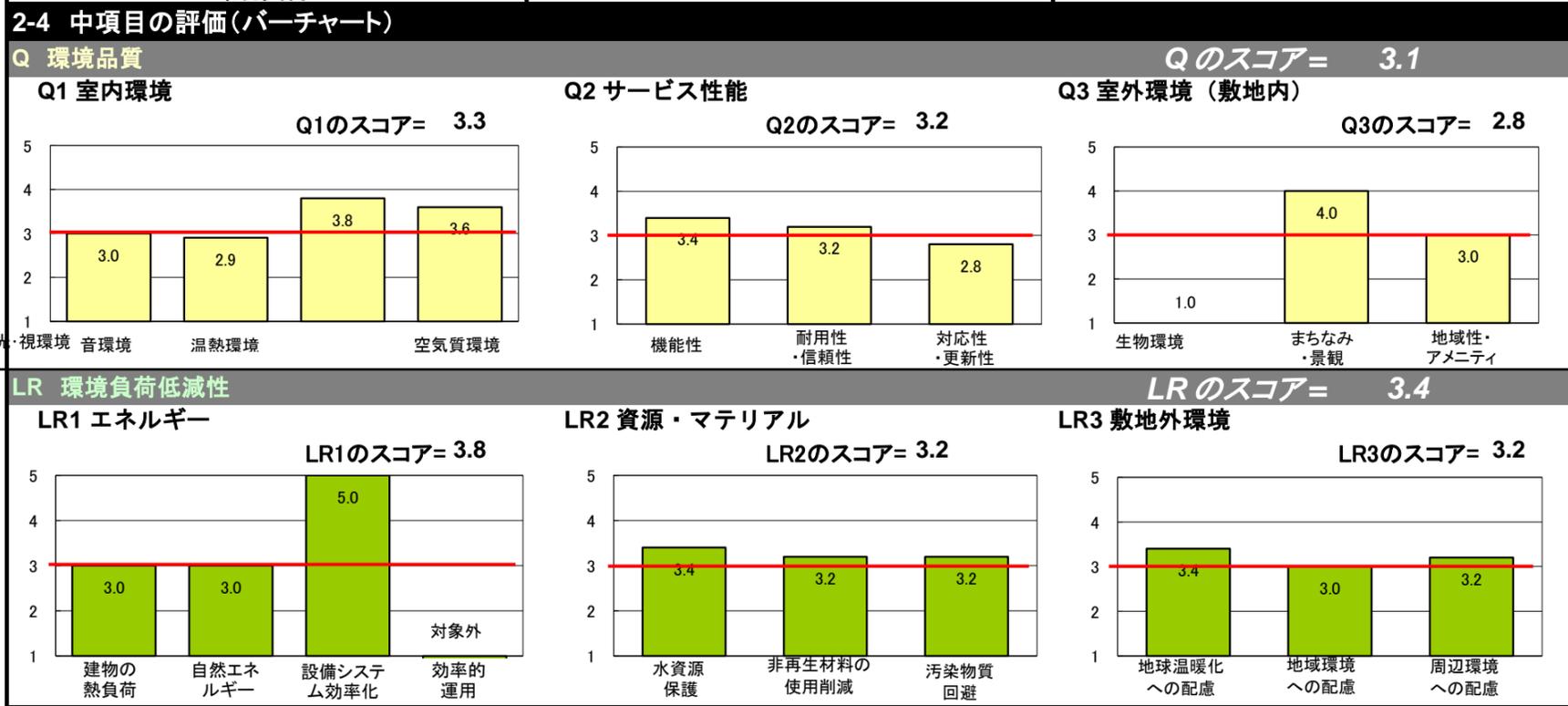
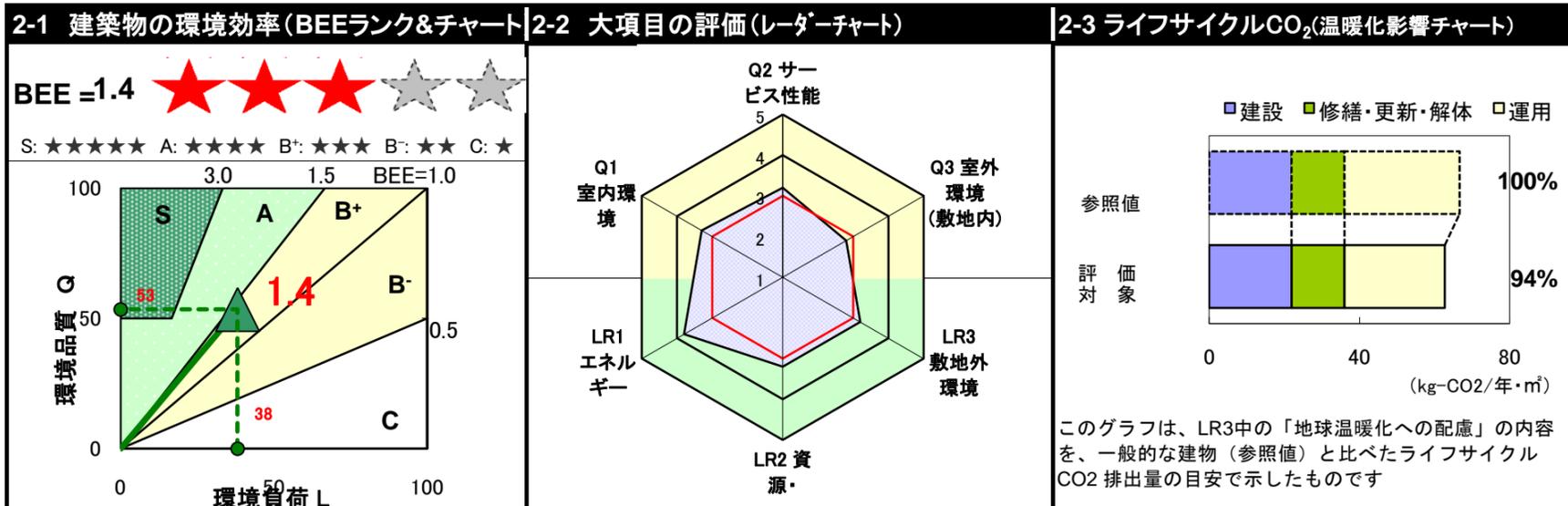
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アルファステイツ宇品御幸	階数	地上15F
建設地	広島市南区宇品御幸3丁目57番2,4,5,6	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	300人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年2月 予定	評価の実施日	2012年1月10日
敷地面積	3,143 m ²	作成者	定森淳一
建築面積	731 m ²	確認日	2012年1月10日
延床面積	6,518 m ²	確認者	藤原 暁

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.2

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.5	スコア = 2.1	スコア = 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項 断熱材は隙間無く施工、開口部サッシは複層ガラス、// 給湯機は潜熱回収型、照明はLEDを採用// 節水型水栓、節水機器を採用。 非構造材に極力リサイクル材を使用。/可能な限りCO ₂ の排出を削減する。	設計の計画上特段に配慮した事項 空気を確保し風の通りをよくし、緑地の確保により暑熱環境を緩和している。/敷地内に十分な駐輪・駐車スペースを確保している。	設計の計画上特段に配慮した事項 外部、内部仕上げ材、配管材料に耐用年数の高いものを使用している。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される